

(参考) 平成21年度統計センターの業務実績に関する項目別評価結果(案)のポイント

AA(目標を大幅に上回って達成)

- 業務運営の高度化・効率化 ⇒ABC/A BMを基礎とした業務マネジメントの導入、常勤職員数850人(目標: 863人)、業務経費・一般管理費の6.6%削減(目標: 3.2%)、民間委託の活用、オートコーディングの導入。
- 業務・システムの最適化 ⇒ホストからC/Sへ移行するためのすべてのシステム開発完了、C/Sでの運用開始。
- 住宅・土地統計調査 ⇒データチェック審査事務の変更により、要員投入量を対計画比31%削減。
- 小売物価統計調査 ⇒機器の処理能力・担当職員の業務能率の向上などにより、要員投入量を対前年度比17%削減。
- 家計調査 ⇒体制整備や業務能率の向上などにより、要員投入量を対前年度比12%削減。
- 科学技術研究調査 ⇒審査事務の効率化などにより、要員投入量を対前年度比17%削減。
- サービス産業動向調査 ⇒年度で変動する事務を除いて、要員投入量を対前年度比14%削減。
- 国土交通省総政局委託業務 ⇒計画外の事務を除いて、要員投入量を対計画比19%削減。
- 情報の蓄積・加工等 ⇒統計表データへのアクセス数倍増、二次利用の積極的な周知・広報、利用者からのニーズ把握
- 技術の研究 ⇒オートコーディングシステム研究の実用化、研究成果の発表

B(目標の80%程度以上を達成)

- 個人企業経済調査 ⇒集計用個別データ符号表の修正誤りにより、一部の結果について再集計。
- 人事院職員福祉局委託業務 ⇒民間企業の勤務条件制度等調査において、乗率の誤りにより、一部の結果について再集計。

※ その他の評価項目については、年度計画を着実に実施していると認められることにより、A評価とした。

これにより

AA : 10、A : 21、B : 2

(P)

【参考】過去の評価結果

	AA	A	B
15年度	4	24	4
16年度	3	23	3
17年度	3	24	1
18年度	4	24	0
19年度	5	26	1
20年度	8	24	4